

乳腺外科 三輪教子

前回10月の乳腺外科トピックスでは、ジャパンマンモグラフィサンデーと歩こう会のことを書かせていただきました。乳がん検診も含めて、日本では、まだまだがん検診の受診率が低いのが現状ですが、検診に関心のない方への啓蒙はなかなか難しいものです。

西脇市健幸都市推進課が推進している健幸アンバサダー制度は、「口コミで健康のために大事な情報を身近な人に伝える」という素晴らしい制度です。がん検診の啓蒙のためにもこれまでとは全く違う切り口で成果が上がることを大いに期待しております。

西脇市健康都市推進課からアンバサダーさん対象のフォローアップ講座にお声がけいただき、11月23日にオリナスでお話させていただきました。私の担当は、「がん検診をお勧めしたときに、気が進まない理由を想定し、その答え方対応の仕方の参考となる話」でした。

まずは、がん検診に行かない理由のアンケート調査（たくさんありますが、乳がん検診のものとして2017年KDDIによるもの（乳がん検診を受けない理由、1位は？ | マイナビニュース [mynavi.jp]）、及びがん検診に関するものとして、大阪国際がんセンターのホームページに掲載されているもの（がん検診の受診率向上に向けて！ | がん検診によるがんの早期発見 | 大阪国際がんセンター がん対策センター [oici.jp]）をご紹介しました。これら2つの結果から、想定質問を6つ挙げて、それに対する答え方を説明しました。

この6つのうち、男性にも女性にもあてはまる想定質問は、次の4つです。

- ① 症状がないからがん検診受けなくていいですよね？
- ② がん検診の受け方を知らないし、めんどくさそうじゃないですか？
- ③ がん検診ってお金かかるし、症状出てから病院に行けばいいですよね？
- ④ 仕事や家族のこともあるし、なかなかがん検診に行けないですよね？

それぞれへの答えとしては、

- ① がん検診の対象は、症状の「ない」人です。症状の出ていないうちに早期発見早期治療を行うことでがんによる死亡を減らすことががん検診の目的です。
- ② それぞれお住まいの自治体の健康課(西脇市なら健幸都市推進課)にお電話ください。
- ③ 例えば、乳がん検診に掛かる費用は、一番早期で見つかって治療費が一番安かった乳がんの治療費用の1割未満です。症状出てからの発見ですとがん検診で見つかるよりも進行していることが多いので、もっとずっと治療費がかかり、乳がんで試算すると検診費用の100倍くらい治療費が掛かることも少なくありません。
- ④ これはなかなか難しい質問です。それぞれの方で状況が違いますから。ただ、どんな状況であっても、健康第一、命あってこそその生活であるとお伝えするしかないかもしれません。